

知って得する  
住まいづくり情報

知得

しっとく15

今年の梅雨

湿度100%の世界／経験のない異次元の気象

今年の梅雨入りは今年5月29日でしたが、下表はそれ以後15日間の気象観測データでオレンジの湿度100%が目立ち、雨天の日には当たり前にイエローの湿度95%以上が目につきます！湿度95%以上というのは外気温と露点温度の差が1.0℃以内つまり外気をわずか1℃でも冷やすと結露が発生するわけで、過去の気象には見られない「以上」というより「異常」レベルの湿気です！

連日95%超！湿度100%も！わずか15日間で異常だらけ

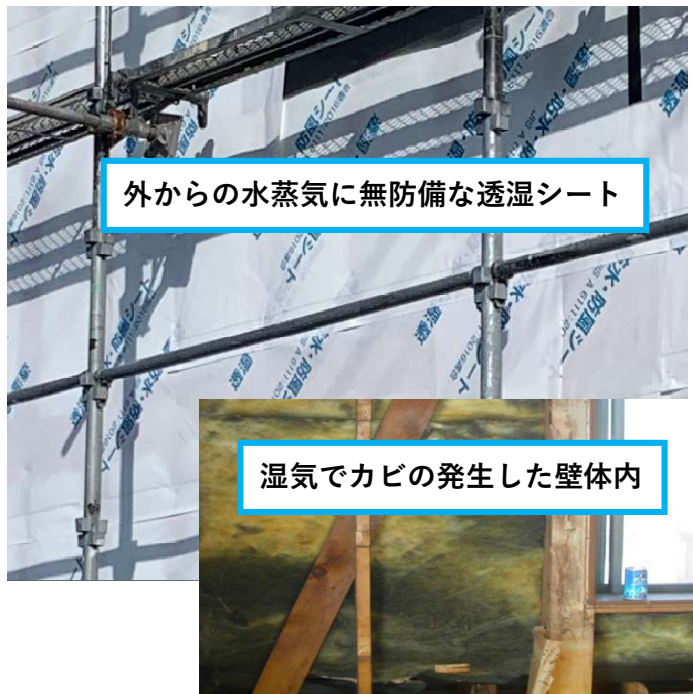
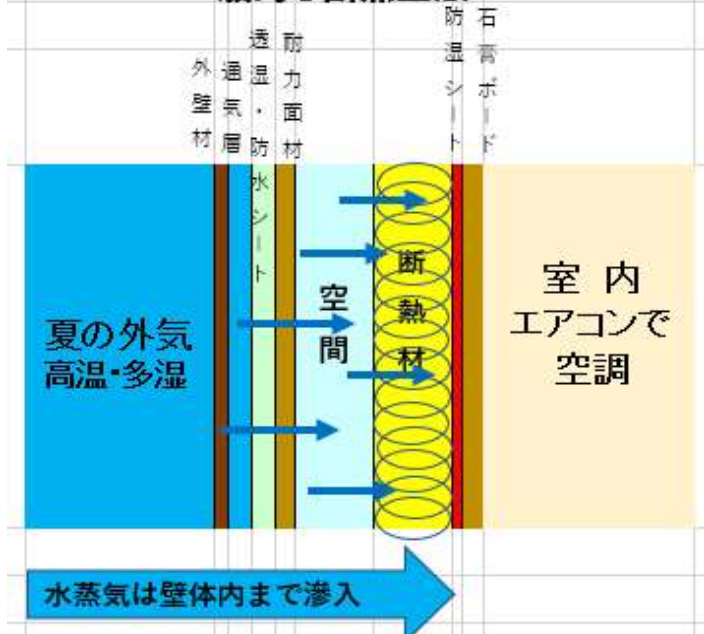
名古屋における2023年5月29日梅雨入り以後の雨天日における湿度（6月13日現在）

2023年5月29日		2023年6月2日		2023年6月6日		2023年6月7日		2023年6月8日		2023年6月9日		2023年6月11日		2023年6月12日	
降水量 時 (mm)	湿度 (%)	降水量 時 (mm)	湿度 (%)	降水量 時 (mm)	湿度 (%)	降水量 時 (mm)	湿度 (%)	降水量 時 (mm)	湿度 (%)	降水量 時 (mm)	湿度 (%)	降水量 時 (mm)	湿度 (%)	降水量 時 (mm)	湿度 (%)
1 0	89	1 3	99	1 --	66	1 3	99	1 --	77	1 1	99	1 0	91	1 0	99
2 0	88	2 3.5	99	2 --	69	2 1.5	98	2 --	76	2 3	97	2 0.5	92	2 1	100
3 0.5	89	3 3	99	3 --	71	3 0	98	3 --	77	3 4.5	98	3 1	96	3 7.5	100
4 0.5	93	4 5.5	100	4 --	71	4 0	98	4 --	83	4 0.5	99	4 0.5	96	4 0	99
5 0	95	5 1.5	100	5 --	70	5 --	98	5 --	84	5 6.5	100	5 0	96	5 0.5	99
6 0	94	6 5	100	6 --	67	6 --	96	6 --	80	6 0	100	6 1	98	6 0	98
7 1.5	97	7 3.5	100	7 --	65	7 --	84	7 --	72	7 0	97	7 0.5	96	7 0	96
8 0.5	95	8 4	100	8 --	65	8 --	78	8 --	69	8 0	93	8 2	98	8 0	97
9 0.5	94	9 5.5	99	9 --	65	9 --	69	9 --	63	9 0	88	9 3	97	9 2	99
10 0	94	10 12	100	10 --	63	10 --	62	10 --	64	10 --	77	10 1	96	10 1	98
11 0	93	11 8	100	11 --	62	11 --	57	11 --	67	11 --	70	11 1	97	11 0	96
12 0	89	12 11	100	12 0	58	12 --	52	12 --	68	12 --	66	12 0.5	96	12 1.5	98
13 0.5	94	13 19	100	13 0	60	13 --	50	13 --	69	13 --	61	13 0.5	95	13 2	98
14 0.5	95	14 21.5	100	14 0	75	14 --	46	14 --	69	14 --	58	14 0.5	93	14 0	97
15 1	97	15 5.5	100	15 0.5	83	15 --	43	15 0	73	15 --	61	15 0	92	15 0	96
16 0.5	97	16 8.5	100	16 0	71	16 --	71	16 0	75	16 --	62	16 0.5	95	16 0	94
17 0.5	97	17 5	100	17 0	80	17 --	46	17 0	87	17 --	63	17 0.5	94	17 0	93
18 1.5	99	18 3	100	18 0.5	86	18 --	47	18 1	94	18 --	62	18 0	90	18 0	94
19 2	100	19 7	100	19 0	89	19 --	50	19 5	95	19 --	67	19 1.5	97	19 0.5	97
20 3	99	20 2	100	20 0	92	20 --	49	20 8.5	94	20 --	70	20 0	96	20 0	94
21 5	100	21 6	100	21 2	97	21 --	51	21 2	96	21 --	74	21 1	97	21 0	95
22 5	100	22 2	100	22 1	98	22 --	61	22 1.5	98	22 --	80	22 0	98	22 0	97
23 1	100	23 3	100	23 0.5	98	23 --	66	23 1.5	99	23 --	83	23 --	99	23 0	99
24 0.5	100	24 3	100	24 0.5	96	24 --	74	24 3.5	98	24 --	84	24 0	99	24 0	98

湿度100% 湿度95%以上

多くの一般的な断熱工法では夏の外気の水蒸気（湿気）を透湿シートから壁の中や床下に取り込んでしまっています！その状態で室内を快適温度に冷房すれば、湿度95%以上の外気を取り込んだ壁内や床下温度が露点温度に下げられるのは自明の理というものです！

一般的な断熱工法



では過去はどうかと言えば、下は1990年～2020年の5年ごとの6月1か月間で最も降水量の多かった日の気象データです。梅雨の最も湿気多い日を選んでも100%はゼロ！

95%以上も稀で、ゼロの年もあります。ところが！今年は雨天なら連日95%超を観測、過去30年と比較すると、いかに水蒸気量が多いかが分かります。

こんな過酷な水蒸気禍ともいえるほどの気候の中で、暮らしに何か変化はありませんか？

今まで経験したことのない雨漏り？結露が原因かも？発生したことのない場所にカビ！床がぐわぐわ！

エアコンがカビ臭い！洗濯物が乾かない！電気代がいままでになく高い！・・・etc・

過去の梅雨

降雨一番の日でも湿度95%超は稀！！

名古屋における6月で最も降水量の多かった日の湿度（1990年～2020年）

2020年6月30日		2015年6月26日		2010年6月18日		2005年6月22日		2000年6月25日		1995年6月14日		1990年6月15日	
時	湿度 (%)	時	湿度 (%)	時	湿度 (%)	時	湿度 (%)	時	湿度 (%)	時	湿度 (%)	時	湿度 (%)
1	70	1	79	1	77	1	85	1	92	1	94	1	84
2	71	2	81	2	76	2	87	2	95	2	95	2	85
3	71	3	80	3	76	3	88	3	95	3	94	3	85
4	73	4	78	4	75	4	92	4	95	4	95	4	84
5	80	5	80	5	74	5	91	5	95	5	94	5	84
6	84	6	79	6	72	6	93	6	94	6	94	6	85
7	86	7	78	7	71	7	92	7	95	7	94	7	87
8	83	8	79	8	68	8	90	8	94	8	93	8	89
9	90	9	85	9	63	9	88	9	93	9	94	9	94
10	94	10	88	10	65	10	84	10	94	10	98	10	92
11	97	11	90	11	71	11	73	11	93	11	97	11	91
12	98	12	93	12	78	12	65	12	88	12	96	12	91
13	99	13	93	13	82	13	62	13	83	13	98	13	91
14	98	14	95	14	85	14	57	14	80	14	94	14	91
15	96	15	95	15	86	15	65	15	79	15	94	15	88
16	94	16	95	16	87	16	65	16	78	16	95	16	87
17	97	17	95	17	87	17	61	17	79	17	94	17	87
18	98	18	95	18	88	18	62	18	79	18	94	18	89
19	99	19	95	19	88	19	62	19	80	19	95	19	92
20	98	20	95	20	89	20	64	20	78	20	95	20	92
21	98	21	96	21	89	21	65	21	80	21	94	21	91
22	98	22	96	22	89	22	66	22	85	22	93	22	92
23	99	23	96	23	89	23	71	23	89	23	94	23	92
24	99	24	96	24	89	24	88	24	89	24	93	24	93

高気密で通気のある家

エアコンが効率よく効き  
省エネで隠蔽部までドライに

空調服のような家

アイティールの家

高温多湿な  
高い気密性能でシャットアウト！  
室内は隠蔽された床下、小屋裏、壁体内まで  
ドライにキープでき木材は長持ちします。

水蒸気に無防備な家

水蒸気で湿気が多く  
エアコンの効きは限定的

汗っかきの家

(厚手ダウンジャケット)

水蒸気圧30hpaを越すような気象条件では  
露点温度25℃という結露しやすい環境です

充填断熱の家

